



学校だより 稲穂

平成31年4月8日 スタート特別号

市川市立平田小学校

校長 杉本雅彦

～進級 おめでとうございます～

新学年に胸躍らせる2年生～6年生までの在校生の皆さん、そして保護者の皆様、進級おめでとうございます。4月8日は転入職員の着任式に続き、始業式が行われました。平成31年度の初日も、笑顔で素直な反応を見せる平田っ子を見ることが出来て、幸せな気持ちになりました。『すべては子供達のために』なるよう、全教職員が一丸となって教育活動に取り組みますので、保護者・地域の皆様のご協力を今年度もよろしくお願いいたします。

今回は、始業式でお話した内容と、昨年度の学年の先生方から1年間で成長したこと、そして同じく昨年度PTA会長さんから頂いていた言葉を載せました。明日の入学式を終えて全学年が揃いましたら、あらためて本校の新体制についてお知らせします。



～継続と挑戦 そして3つの大切な事～

以下は、始業式で子供達に向けて話した内容です。

皆さん、おはようございます。元気な皆さんと今日こうして笑顔で会えたことが、何よりも嬉しいです。

ところで、3月25日の修了式の日はこの体育館にいた人は、校長先生が何を話したか覚えていますか？学年の話をしました。そうです。皆さんは今日、新しい学年になりましたが、実は新0年生になる為のスタートラインに立った日なのです。体も心もそして頭の中も、本当の意味で今年度の学年になれるように、1年間をかけて努力してほしいです。

そして5月1日からは、いよいよ新しい元号「令和（れいわ）」になります。この2019年は、未来の教科書の1ページに間違いなく書かれる年となります。皆さんはそんな歴史的な年に、この平田小で学んでいた児童の一人であったと、大人になって、もしかして親になって、小さい子に話す日が来るかもしれません。わくわくしますね。

さて、校長先生は、今年度の大きなテーマを「継続と挑戦」にしました。継続は続けること、挑戦は新たに取り組むことということです。英語で「Continuation (カソツイナヒヤツ) & (イノ) Challenge (チャリッジ)」となります。そこで皆さんには、1年を通じて大切にしてほしいことを3つ言います。主に、昨年度から継続されることです。

1つ目は、「気持ちのいい『挨拶と返事』をしましょう」です。昨年にプラスして“返事”を入れました。

2つ目は、「話は、目・耳・心でしっかり聴きましょう」です。学習がきちんと身につくようになります。

3つ目は、「命を大切にしましょう」です。これは変えません。学校生活において、最も大事なことです。自分の命を守り、友達の命も大切にする。体も心も傷つけない。世界に一つしかなく、替えることのできないものです。この3つは、年間を通じて意識していきましょう。「挨拶と返事、話を聴く、そして命」を、ぜひ覚えて帰ってください。

さらに校長先生は、平田小の大事な歴史は6年生が作ると思っています。6年生がしっかりしている学校は、1年間とても良い学校になるのです。ここにいる在校生と明日入ってくるピカピカの1年生は、最上級生を常に見てお手本にします。66年目を迎える平田小の歴史を、ぜひ中心となって作っていきましょう。頼みます。

ちなみにこの間、子どもたちの話を聴く態度は、抜群に良かったです。



～平成30年度フレイバック～ 1年間で成長したこと(旧担任より)

【旧 たんぼぼ】

・全学年対象のイベント交流を行ったことで自信がついた。自分の係や担当の仕事が分かり合えるようになった。通常級やたんぼぼの児童同士でも、コミュニケーションが増えた。



【旧 4年生】

・自分の考えに責任を持ち、学級や学年全員が協力して前に進めるようになった。課題に対する考えを友達に伝え、教え合って全員で解決した。高学年としてははっきりとした自覚が持てた。



【旧 1年生】

・指示を待っているだけでなく、自分のことと友達のことを、よく考えて行動することが出来る子になった。自分でできることが、たくさん増えた。



【旧 5年生】

・学級や学年でまとまりが出てきた。イベントに全力で取り組む子が多いこと。卒業生や下級生など他人のため、そして学校のためを意識して行動できるようになった。



【旧 2年生】

・元気いっぱい過ごすことができた。自分のことばかりではなく、周りの人、友達のことを考えて行動することが出来るようになった。



【旧 6年生】

・物事に前向きに取り組むようになった。他児を思いやる、人に優しい子が増えた。みんなでまともろうという気持ちが出てきた。学校のために何が出来るかを考えて行動できた。



【旧 3年生】

・行事に向けて一生懸命頑張る。集団行動ができ、指示がすぐ通る。ルールを守る子が増えた。積極的に学習する子が増えた。歌やりコーダーが上達した。友達関係が上手にできる。給食の完食とおかわりが増えた。学習で人助けや感謝の気持ちを持てた。



【旧 通級指導教室】

・自校や他校の子と一緒に学習できた。授業終わりに笑顔で挨拶できた。全員が苦手な学習にもチャレンジした。困った時担任に伝えたり深呼吸で落ち着かせたりすることができた。休みがちな子が毎日登校できるようになった。



～石井紳滋 PTA 会長からの言葉～



平成30年度 PTA 会長を務めました、石井紳滋と申します。年度末で3年目を終えました。微力ではございますが、皆様のお力をお借りしまして、無事故の運営と子供達が安心して学校生活を送れるよう努力してまいりました。さて今回も、私が心に残った言葉を紹介しておきたいと思っております。

その言葉とは、**「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」**です。

その意味とは、まず手本を見せて、そして、きちんと相手にわかるように説明する。それで、相手に学ぶ気持ちがあれば、きっと真摯に受け止めて聞くでしょう。それから、実際に本人にやらせてみせ、その結果や過程に対してしっかり褒める。これは相手にとって初めてのことにチャレンジしている様子を教育者（親）がきちんと見ているというコミュニケーションでもあります。つまり、人はいくつになっても誰かに見てもらいたいということです。そうして褒めて認めてあげることにより、相手はやる気や自信がついて、更なる飛躍に向けられるということです。私は、この言葉を読み説明を見た時に、同じことを思いました。

親が子供達の見本となり行動する、分からないことがあればきちんと聞いてあげ、それに対して答える。何かに挑戦した時、成功した時はもちろん、たとえ失敗したとしても、その努力したことに対してしっかり褒めてあげる。そうすれば、きっと子供達も、次に進もうという気持ちになってくれると思います。そんな子供達を、私達大人がしっかり見つめ守って、安心して過ごす学校づくりをしていきたいものです。

今後ご理解とご協力の程、宜しくお願ひします。【PTA 役員の皆様1年間ありがとうございました。】